



1.サービス貿易交渉を取り巻〈環境

(1)世界不況の影響:保護主義の台頭「バイアメリカン」

「信用秩序維持」を理由とした政府支援

(2)進まないWTO交渉 市場アクセスについては、交渉の余地 が少ない



2. 日本企業の関心

- 設立/営業開始手続きの煩雑さ(モード3)
- 過半の株式取得困難(モード3)
- 内国民待遇が十分に与えられていない (金融分野など)

「伝統的分野」(WTOよりFTAに期待?)



3.今後の交渉ポイント

- (1)交渉の優先順位付け
- (2)モデル協定の活用を通じた交渉のスピードアップ
- (3)新サービス/分類問題
- (4)保護主義への対応(ルール問題)
- (5)世界レベルでの「サービスの標準化」の議論へ の対処